複合化の取り組み事例
（掛合交流センター・掛合総合センター）

雲南市では、多機能化による住民サービスの向上や施設保有量の適正化を図るため、平成３０年度に３つの施設の異なる機能をひとつの施設に集約し複合化しました。

掛合交流センター

掛合総合センター

掛合ふるさと活性化センター

（　複　合　化　）

⇒ 掛合交流センター・掛合総合センター

１．施設概要

【統合前】３つの施設概要

種別	施設名	面積	構造	備考
交流センター施設	掛合交流センター	779 ㎡	S	
庁舎施設	掛合総合センター	1,960 ㎡	ＲＣ	
集会施設	掛合ふるさと活性化センター	2,382 ㎡	ＲＣ	旧掛合小学校校舎

【統合後】複合施設の概要

種別	施設名	面積	構造	備考
交流センター施設 庁舎施設	掛合交流センター 掛合総合センター	1,155 ㎡	S	

２．延面積の縮減

３つの施設合わせて約５，１００㎡あったものが複合化により、約４，０００㎡の縮減が図られました。これは、今後の更新経費の縮減にも関わってきます。

３．維持管理費用の縮減

年間の維持管理経費は、今後約２００万円の縮減が見込まれます。

施設名	管理料（H29）
掛合交流センター	90 万円
掛合総合センター	1010 万円
掛合ふるさと活性化センター	50 万円

⇒

施設名	管理料
掛合交流センター 掛合総合センター	950 万円
縮減額	200 万円

※管理料は、光熱水費や燃料費のほか施設・設備に係る委託料などの物件費になります。

掛合交流センター・掛合総合センター

旧掛合総合センター

旧掛合交流センター

掛合ふるさと活性化センター